

26番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 超多忙な先生の勤務実態を改めることは、子どもの学習権の保障になる。</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>静岡県では多忙やパワハラなどの影響をうけ新任の先生が自殺されるなどの事件が起き、裁判になりました。</p> <p>多忙な仕事に追われ、先生が子どもの変化に気づけない、声をかけられないなど、多忙の問題は子どもの学習権の保障にも大きな影響を及ぼしています。文科省も、先生の働き方改革を言い出しています。市は、どのように対応をされるか伺う。</p>	<p>(1) 超多忙な先生の勤務実態をどのように把握されているか。</p> <p>それは、子どもたちの学習権の保障とどう関わるか、教育環境を改善するための前提を伺う。</p> <p>(2) 先生の毎日の勤務実態を市教委はどのように把握しているのか。</p>	<p>① 平成30年度の小中学校28校の月別在校時間表から1ヶ月につき、在校時間が80時間、さらに100時間以上学校に在籍されていた先生が年間のべ1119人もおられる。この事態は教育現場の異常さを示していると考えますが、市教委はこの事実をどう認識しておられるか。</p> <p>② これだけの長時間在校勤務が長時間(超過)勤務とされない理由は何故か。</p> <p>③ そして、1日の勤務時間内だけでは子どもたちの教材の準備はとてできないことを教員組合の教育白書(2018年度)は、示しています。多忙による働き方は、子どもたちの学習権にも大きな影響を及ぼしていると考えますが市の見解を問う。</p> <p>④ また、これだけの超過勤務(時間外勤務)の中で平成26年度から平成30年度までに産業医の面接を受けた先生はわずか8名に過ぎないことの実態を市教委はどう受け止めているか伺う。さらに、どう改善されるのか伺う。</p> <p>⑤ 先生の仕事の実態としては、超過勤務が放置されているのが恒常化しているのではと考えるが市教委の見解はどうか。より勤務の実態を捉えるためにもタイムカードなどを設置すべきと考えるがどうか。</p> <p>① 先生は勤務時間7時間45分の勤務に対し45分の休憩を取るようになっていますが、子どもがいる間は完全に休憩を取ることはできない。なぜ市教委は適正な休憩を実施しないのか。併せて休養室の確保をすべきと考えるが、どうか。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(3) 多忙化の原因を明らかにし、子どもたちの学習権を保障する学校作りをどう進めるか。現場の声として、自分が休むと、周りの先生に迷惑がかかるので多少の病気でも出勤せざるを得ないなどの意見も伺うが、一方で学校教育の抱える構造的な問題も含めて考えるべきではないか。</p>	<p>② また、休憩時間及び時間外勤務については、行事や指導で削られた場合には振替の措置が取られることが必要と考えるが、どのように対応されているのか伺う。</p> <p>③ 終業時の前に30分の休憩が設定され、その後15分の勤務になっていると伺うが、先生の精神的な安定をはかるには昼の休憩として45分を確保すべきと考えるが、市教委はどのように考えているのか。</p> <p>① 2018年度、瀬教組の教育白書からも約半数の先生方は、年休は取りにくいとしています。その主な理由については「仕事が忙しい」としていますが、市教委はこれをどのように認識されていますか。</p> <p>② 愛知県では、校長、教頭の他に教務、校務などの役職があるが、他県には、校長、教頭以外の役職は無く、教頭先生も一定の授業を持っておられる県もあります。瀬戸市の場合は、役職の先生はどれ程、授業をもたれているか、また、担任の負担軽減のためにどのような取り組みをされるのか、伺う。</p> <p>③ また担任の先生は非正規の方もおられるが、小中でそれぞれどれ程か。やはり担任の先生は正規の先生を配置すべきと考えるが、なぜできないのか。</p> <p>④ 現在、小学1、2年と中学1年のみが35人学級となっているが、先生の加配を行い、全ての学年で35人学級とすべきと考えるがどうか。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(4) 多忙化の原因の一つは先生の不足にあると考える。また、これまでの市教委の多忙化減少の取り組みについても伺う。</p>	<p>① 現在の先生方の勤務がこれほどまでに多忙なのは「ゆとり」の教育導入時に、本来必要な教員の定数をそのままにして従来通りの定数としてきたことから、必然的に仕事の量が多くなったことによる。その原因は国にあることから、定数の改善を求め、増員するように国に対して働きかけるべきと考えるがどうか。市教委の見解を伺う。</p> <p>② また、小中一貫教育の中では小学校1年生からの英語については、教材の準備や評価など先生にとっては大きな負担となり、その上に道德の教科化も始まり、その評価も大変とされる。そこで、英語など専門員の配置など、市教委としての対応こそ必要と考えるが、どうか。</p> <p>③ 次にこれまで、先生の働き方改革については、平成29年度は文科省からの「中間まとめ」さらには今年度には「提言」が出されたと伺う。これまでそれらに対応して市教委として、どのような先生の超過勤務に対する見直しをされてきたか伺う。</p> <p>④ 中でも「部活動に関するガイドライン」はこれまでの部活動の在り方への警鐘にもなったと伺っているが、具体的に市教委はどのように対応されたのか。市教委として独自にガイドラインを出すべきと考えるが、どうか。また、今後の部活動の在り方をどうされるのか伺う。</p> <p>⑤ 学校の行事についての見直しも始められ、他県では、運動会は半日日程にするなどの短縮も図られてきていると聞くと、瀬戸市は各種行事の見直しをどのように</p>

(3ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(5) 市や地域への行事やイベントの参加を子どもたちや先生が要請される場合もあると伺う。先生は子どもたちの引率が求められると考えるが、抜本的な見直しが必要と考えるがどうか。</p> <p>(6) 先生が安心して働ける教育環境こそ必要です。そのためには、産業医にかかりやすい環境づくりこそ市教委の大切な取り組みと考えるがどうか。</p>	<p>進められるか、また学校と市教委との関係はどのように考えておられるか伺う。</p> <p>⑥ 校務分掌については、かつての給食事務の様に既に担任から係の方に移された事例もあると聞いている。またプール清掃の業者委託は、授業時間の確保や安全面で現場から歓迎されている。今後、抜本の見直しとして図書館司書など専門職を配置することについて、市教委の見解を伺う。</p> <p>① まるっとせとっ子フェスタで実施されている音楽会などは、学校によっては、そのために練習をするとも伺っている。授業時間数が不足している中で、そこまでして取り組む必要があるのか。他の方法はないのかなど、せとっ子フェスタなど、行事の抜本的な見直しを進めるべきではないか。</p> <p>② 各種イベントなど、先生が休日に子どもたちの引率を行う場合には、代休の制度を活用すべきと考えるがどうか。その際勤務の割振簿の活用をはかるべき考えるがどうか。</p> <p>① 超過勤務手当の支払いや3-6協定など抜本的な対策を講じて、安心して勤務できる教育環境を作るべきと考えるがどうか。</p> <p>② 併せて先生のためのカウンセラーや産業医の充実をはかる必要があるが、市教委の見解を伺う。</p> <p>③ これだけ超過勤務の多い職場環境では、ストレスのたまる先生も多数あると考</p>

( 4 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	原田 学 議員		
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)	
		るが、職場によっては精神科などにかかりにくい場合もあると考えます。市として診療費を助成する制度を作るなど、より医師にかかりやすい環境づくりも必要と考えるが、市教委の見解を伺う。	

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。